

2014年9月号

衣類のお手入れ通信

今年の中秋の名月は9月8日ですね。中秋の名月は、別名「芋満月」とも。お月見といえば団子を思い浮かべますが、その始まりは里芋だったのだとか。同じ時期に収穫される里芋を満月に供えて、豊作を感謝したのだそうです。今年の名月、綺麗に見れますように^^

【夏物衣料、水洗いして片付ければ大丈夫？】

夏物からの衣替えでは、片付ける前に水洗いしておけば大丈夫…と置いていらっしやいませんか？実は、それは非常に危険な考え方なのです。夏に着た服には、気付かないうちにこぼれた清涼飲料水や、汗が染み付いています。そして飲料水にはアミノ酸・ミネラル・ビタミン、汗にはこれらに加えて尿素・乳酸といった成分が含まれています。これらの成分は、きちんと水洗いすればきれいに落ちます。

しかし、「夏の終わりに自宅でしっかり水洗いして片付けたはずのシャツを、次のシーズンに着ようと思って出してみたら、エリまわりが黄ばんでいた」というご相談をお受けする事がよくあります。この黄ばみの正体はシャツのエリまわりに付いた皮脂。水洗いでは落ちなかった皮脂が、酸化して黄ばんでしまったのです。皮脂とは毛穴に付属している皮脂腺から分泌される脂で、主に頭皮とかエリ周りに多く分泌されます。これが衣服に付きますと、いくら優秀な家庭用洗剤で洗っても完全におとすことは不可能です。さらに衣料の研究者によると、皮脂は最近の衣料品にかなりの割合で使われているポリウレタンコーティング樹脂を劣化させてしまうといえます。

しかしご安心下さい。皮脂を取り除くのに適しているのがドライクリーニングなのです。ドライクリーニングの溶剤の主成分は石油なので、皮脂だけでなく空気中のホコリや排気ガス、機械油などの油性分を取り除くのに最適です。汗を大量に吸い込んだ衣類をしまい込む前は、水洗いだけでは足りないことがお分かりいただけたでしょうか。

水溶性の汚れは水洗いでおとして、油性の汚れはドライクリーニングでしっかりとおとす。このように2通りの洗い方をしてあげれば、又来シーズンの夏に気持ちよく袖を通すことができます。ただし衣類の洗濯表示には片方しか洗えない表示になっているものがありますので、ご不明な点は私どもにご相談くださいませ。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6

TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

[ここに入力]